



# 若き力

第34号

平成30年2月14日  
(水曜日)

教育目標 「日本の伝統を重んじ、世界と未来に目を向けながら、互いに認め合い、学びを高め合う、たくましい生徒」

平成29年度重点目標 「自分の課題を持ち、自分で考えて見通しを立て、最後までやり遂げる生徒」



## 学校評議員会

2月13日(火)、第2回学校評議員会を行いました。

3校時の授業を参観いただき、その後、校長室で今年度の教育活動や学校評価アンケート結果について説明させていただきました。

評議員の皆様からは、授業参観で気づかれた点や今年度の取組へのご助言をいただきました。

・授業準備や個別指導、部活動等の中で、多忙化解消策をどう講じているか。

・先生方は、恵まれた教室環境(ICT機器など)有効に活用している。

・生徒の真剣な眼差しの中に、先生との良好な関係を感じ取ることができた



三味線の基本を学ぶ2年音楽の授業

・先生主導の授業で、生徒の発表、声が少なく感じた。

・他学年や他校との交流授業を生かし、生徒の表現力や発表力を高められないか。

・近所のスーパードで生徒と会った時など、笑顔であいさつや受け答えしてくれる。

・少人数ながらも互いを思いやる心が育っている。

評議員の皆様からは、子どもたちの頑張り、先生方の真剣な姿勢をたくさん褒めていただきました。ありがとうございました。



体力向上をめざし導入になわとびを取り入れている1年体育の授業



ICT機器を活用した3年数学の授業

## Pepperスクールチャレンジ

# プログラミング成果発表会

小・中学校の代表が 堂々と発表しました。



今年度大熊町の小・中学校は、ソフトバンクグループ様のご支援を受け、AI搭載のPepperを活用したプログラミングの学習を行ってきました。社会貢献活動の一環として、人とロボットの共生する未来の主役となる子どもたちに対してプログラミング教育を提供する事業で、全国十七自治体、二八二の公立小学校で取り組まれています。



入学式では来賓をお出迎え

大熊町では学習の成果を12月19日に発表会として行い、3年生は「中学生部門」、小学生は「部活動部門」でそれぞれ1チームが、全国発表会への出場権を得ました。

## SB東京汐留ビル会場で自治体の代表が成果発表

発表会は2月11日(日)に行われました。

中学生代表の東理くんと三瓶くんは、「脳の活性化と認知症予防に役立つPepper」と題して、徐々に画面の一部が変化するアニメーションを取り入れたクイズ形式のプログラムを発表しました。審査員は「どこが変化したか分からなかった。もう一回」などと興味を示していました。

また、小学生の廣嶋くんと東理さんは「お年寄りを笑顔にする」ことをめざして、大熊の方言を生かした

民話を紹介するプログラムを発表しました。最新のPepperが「いっしょにやっぺー!」「おぼえてっか?」と話すなどユーモアも感じ取ることができました。

